



FUJIBO

The Focus on Innovation

第**201**期 中間報告書

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役会長兼社長

中野光雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第201期上半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急激に個人消費が減少し、企業収益が悪化しました。コロナ感染は、一時収束に向かい、段階的に経済活動が再開されましたが、更なる感染拡大が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは中期経営計画『加速17-20』において、研磨材事業・化学工業品事業では、研究開発力、生産能力の強化を進めるとともに、コスト削減、効率化、収益力の向上に努めました。また、繊維事業では、感染拡大に伴う売上減に対応するため、サプライチェーンの最適化・高度化による競争力の増強や販売戦略の見直し、経費削減等、様々な構造改革を進めております。

この結果、当中間期の連結売上高は前年同期比1,852百万円（9.4%）減収の17,814百万円、営業利益は736百万円（34.3%）増益の2,883百万円、経常利益は713百万円（31.7%）増益の2,960百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比698百万円（52.2%）増益の2,036百万円となりました。

なお、当事業年度の間配当金につきましては、中長期的な企業価値向上のための成長投資に振り向ける内部留保を勘案し、長期安定的な株主還元の観点から、前期の間配当と同じく1株当たり50円とさせていただきました。

当社は、2017年度から2020年度までを計画期間とする中期経営計画『加速17-20』を実行しております。本中期経営計画では、計画期間の前半2年を更なる拡大の

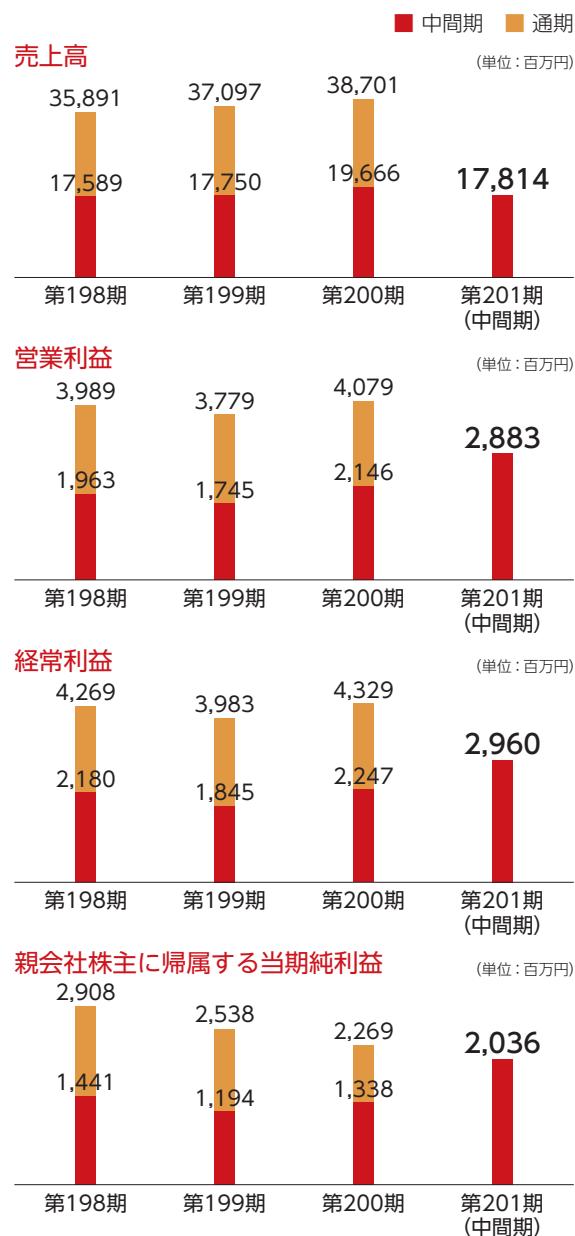
ための基盤創りを加速する「変革の加速」ステージ、後半2年は企業価値拡大を加速する「成長の加速」ステージと位置づけ、利益重視に立脚した重点3事業の成長加速を基本方針とし、①収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大、②繊維事業の構造改革による収益力向上と反転攻勢、③成長加速に向けてのホールディングス機能の強化の3つの基本戦略を、スピード感を持って実行し、当社グループの企業価値拡大を「加速」させてまいります。

後半2年間の「成長の加速」ステージにおいては、主力事業として成長を続ける研磨材事業では、半導体製造の最先端プロセス・次世代プロセスに対応した超精密加工用研磨材の開発・拡販に取り組むとともに、BCPと今後の受注拡大に対応するため国内新工場の稼働を開始しました。化学工業品事業では、事業規模拡大のため、既存生産設備のフル稼働体制を構築するとともに、更なる生産能力向上に向けた各種設備の増強を進めております。新型コロナウイルス感染症の影響が大きい繊維事業では、インターネット販売など新規販売チャネルの開拓・拡大を進めるとともに、生産体制の再編と不採算事業の抜本的な見直しに取り組んでおります。その他の事業では、医療機器用途など新規商材拡大と金型部門の強化で、化成品事業を重点3事業に続く第4の柱事業として育成すべく基盤整備を進めております。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本のみならず世界経済にも多大な影響が出ており企業活動も多様な変化を求められております。今回のコロナ危機を契機に、ウィズコロナ（アフターコロナ）時代における組織の在り方を見直すとともに、事業のポートフォリオを再構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月



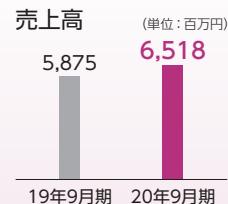
研磨材事業

売上高構成比
36.6%



主力の超精密加工用研磨材は、ハードディスク用途および液晶ガラス用途は主要ユーザーの一部が生産調整や在庫調整を実施したことにより、受注が減少しました。シリコンウエハー用途および半導体デバイス用途 (CMP) 等は新型コロナウイルス感染症の影響による部材調達遅延や経済活動の抑制などの影響も懸念されましたが、各種センサー用、5G通信用の半導体需要の増加に加え、ユーザーの在庫の積み増しにより拡大しました。

この結果、売上高は前年同期比643百万円(10.9%)増収の6,518百万円、営業利益は731百万円(57.6%)増益の2,002百万円となりました。



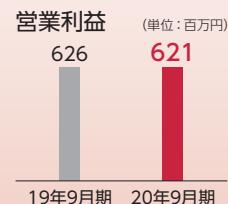
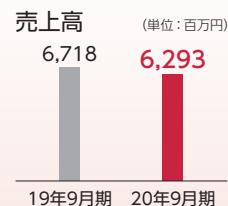
化学工業品事業

売上高構成比
35.3%



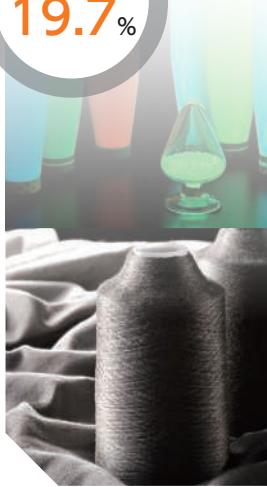
機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、中国における環境規制の影響による化学工業品生産の日本国内回帰の傾向も続いており、農薬用、機能性材料用を中心に受注は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部ユーザーからの受注減少の影響を受けました。

この結果、売上高は前年同期比424百万円(6.3%)減収の6,293百万円、営業利益は5百万円(0.9%)減益の621百万円となりました。



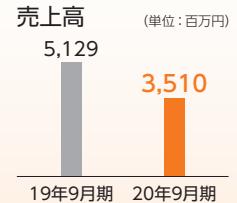
織 維 事 業

売上高構成比
19.7%



繊維事業は、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言解除に伴い、営業活動は徐々に再開されているものの、消費行動の自粛傾向やインバウンド需要の減少が続き、収益環境は厳しいものとなりました。そのため、百貨店向け商品を中心に、在庫削減による物流費用の低減や、国内外生産拠点の適正化によるコストダウンを進めるとともに、不採算分野からの縮小撤退、体質改善に向けた構造改革を進めました。一方でインターネットなど新規チャネルでの販売は、外出自粛の巣ごもり需要増加等により堅調な動きが続きました。

この結果、売上高は前年同期比1,619百万円(31.6%)減収の3,510百万円、営業利益は23百万円(20.0%)減益の93百万円となりました。



そ の 他 の 事 業

売上高構成比
8.4%



化成品部門は、デジタルカメラ用部品および医療機器用部品は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたユーザーの在庫調整により減少しましたが、金型部門は自動車・二輪車各メーカーのモデルチェンジに向けた量産用金型が堅調に推移しました。貿易部門は、中米カリブ海地域向け自動車・農業用機械などの三国間貿易において、同地域各国の主要都市ロックダウンのため、前期末に一部の債権に対し引当を積みましたが、解除に伴い回収されたため取り崩しました。

この結果、売上高は前年同期比450百万円(23.2%)減収の1,491百万円、営業利益は31百万円(23.8%)増益の165百万円となりました。



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 2020年9月30日 現在	前 期 2020年3月31日 現在
資産の部	53,941	52,194
流動資産	18,661	18,888
現金及び預金	4,454	4,994
受取手形及び売掛金	8,070	8,368
商品及び製品	1,610	1,692
仕掛品	2,852	2,474
原材料及び貯蔵品	1,096	1,172
その他	602	331
貸倒引当金	△25	△146
固定資産	35,279	33,305
有形固定資産	32,226	30,331
建物及び構築物	6,845	6,863
土地	13,866	13,891
建設仮勘定	5,824	3,614
その他	5,689	5,962
無形固定資産	696	744
投資その他の資産	2,357	2,229
その他	2,399	2,271
貸倒引当金	△42	△42
資産合計	53,941	52,194

科 目	当中間期 2020年9月30日 現在	前 期 2020年3月31日 現在
負債の部	18,505	18,351
流動負債	11,692	11,411
支払手形及び買掛金	4,064	3,841
電子記録債務	791	873
短期借入金	1,168	1,189
未払法人税等	770	759
賞与引当金	625	602
返品調整引当金	22	37
その他	4,250	4,108
固定負債	6,812	6,940
長期借入金	295	298
退職給付に係る負債	4,478	4,730
資産除去債務	311	311
その他	1,727	1,598
純資産の部	35,436	33,842
株主資本	33,361	31,874
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,184	2,176
利益剰余金	25,044	23,580
自己株式	△541	△555
その他の包括利益累計額	2,074	1,967
その他有価証券評価差額金	543	390
繰延ヘッジ損益	△4	△17
土地再評価差額金	1,270	1,270
為替換算調整勘定	256	313
退職給付に係る調整累計額	8	9
非支配株主持分	0	0
負債純資産合計	53,941	52,194

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2020年4月1日～ 2020年9月30日	2019年4月1日～ 2019年9月30日
売上高	17,814	19,666
売上原価	11,511	13,111
売上総利益	6,302	6,554
販売費及び一般管理費	3,419	4,407
営業利益	2,883	2,146
営業外収益	181	176
受取利息	0	1
受取配当金	27	28
固定資産賃貸料	130	132
その他	23	13
営業外費用	104	76
支払利息	7	8
固定資産賃貸費用	30	32
その他	66	35
経常利益	2,960	2,247
特別利益	14	1
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	14	0
特別損失	63	186
固定資産処分損	36	78
減損損失	6	6
投資有価証券評価損	14	—
構造改革費用	—	92
その他	5	9
税金等調整前四半期純利益	2,911	2,062
法人税、住民税及び事業税	786	718
法人税等調整額	88	5
四半期純利益	2,036	1,338
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,036	1,338

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2020年4月1日～ 2020年9月30日	2019年4月1日～ 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	2,528	3,131
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△2,407	△3,019
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△622	△1,431
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△18	△31
現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)	△520	△1,350
現金及び現金同等物の 期首残高	4,930	4,830
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,410	3,480

大分新工場が本格稼働へ

フジボウ愛媛(株)では、5G(第5世代移動通信システム)やAI(人工知能)用最先端半導体の製造工程の研磨プロセスに欠かせない超精密加工用研磨材を製造し、国内外の多くの顧客へ販売しています。

この度大分臨海工



業地帯に建設中だったフジボウ愛媛(株)大分工場が完成し、10月22日にお披露目を兼ねた竣工式を行い、稼働を始めまし

た。竣工式は鶴崎大神宮の宮司様を齋主にお迎えし、多くの来賓にご臨席いただき、厳かに執り行われました。

この大分工場は、顧客からの強い要望であるBCP(事業継続計画)拠点としての役割を担うとともに、品質・生産性の向上を実現する各生産設備、自動管理できる排水設備など最新鋭の設備を導入し、品質・納期対応だけでなく安全や環境にも配慮した工場となっています。今後、業績へ貢献できるように努めてまいります。

事業拡大に備え、 設備を強化

化学工業品事業を担う柳井化学工業(株)。機能化学品および医薬中間体などの受託製造を行っています。



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、若干の影響は受けたものの、堅調な受注は継続されており、今後も更に受

注が拡大していく見通しとなっています。

今後の更なる需要拡大に対応すべく、武生工場(福井県)においては生産能力増

強のための新工場の増築が進行中です。また、柳井本社工場(山口県)においても、現有設備の生産性向上のために設備改修に取り組んでおり、生産能力拡大への対応を進めています。生産によって排出される廃液を安全に処理する液中燃焼炉の増設に加え、今後、増加していく生産に対応するため、倉庫などのユーティリティ設備の増強を実施中です。

これらの積極的な設備投資を進めることで、今後の更なる事業拡大に備えています。



タフさと着心地を 兼ね備えたこだわりの1枚

“タフで長持ち”というB.V.D.のイメージそのままに、長年の着用に耐え、味わいあるヴィンテージ感を持つヘビーウエイトTシャツ。

「ザ・ヘビーウエイト-T」は、耐久性と着心地の良さを兼ね備えたフルシーズン対応可のアウトターTシャツで、荒削りな風合い



が生むヴィンテージな素材感を活かしながらも、細部にまで気を配った縫製による進化したシルエットが魅力の商品です。昨冬、クルーネックTシャツと、ヘンリーネックTシャツを発売しましたが、その際立つコンセプト、デザイン、品質が本物志向のお客様からの支持を得て、高価格商品ながら発売から短期間で品薄状態となりました。



今秋には、ヘンリーネックのカラーを一新するとともに、新たに長袖も追加発売しています。今後もお客様に共感いただける価値ある商品の充実を図ります。

Topics

3

繊維事業

金型部門の強化進む



成形と金型の両輪を揃えました。

同社は高い精度と信頼性が求められる自動車関連

プラスチック射出成形品の製造・販売を行う化成産品事業は2018年10月に(株)東京金型をフジボウグループの一員とし、

金型を中心に、長年の実績、ノウハウを活かし、ユーザーから、品質・コスト・納期で高い評価を得て、このコロナ禍におい



ても堅調な受注でフル生産の状況を継続しています。

2020年1月にはお客様の生産拠点が集積する群馬県藤岡市に新たな生産拠点を設け、生産能力拡大を図りました。また、この新工場は本年6月には大型成形機の導入も行い、これにより更なる金型完成度の向上と、お客様要望への対応力強化を実現しました。将来的にはより高付加価値な金型分野への事業拡大に取り組んでまいります。

Topics

4

化成産品事業

会社概要

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体101名 連結1,169名
主要な事業内容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

連結対象会社

■ 研磨材事業

フジボウ愛媛(株)
台湾富士紡精密材料股份有限公司
フジケミ(株)

■ 化学工業品事業

柳井化学工業(株)

■ その他の事業

フジボウ愛媛(株)
フジボウテキスタイル(株)
フジケミ(株)
(株)東京金型

(注) 2020年10月1日付で(株)フジボウアパレルは、アングル(株)を吸収合併しております。

■ 繊維事業

フジボウ愛媛(株)
(株)フジボウアパレル
富士紡(常州)服装有限公司
ジントナフジボウコーポレーション
フジボウテキスタイル(株)
タイフジボウテキスタイル(株)
アングル(株)
富士紡(上海)商貿有限公司

役員

代表取締役会長兼社長 社長執行役員	中野光雄
代表取締役 副社長執行役員	青木隆夫
代表取締役 専務執行役員	吉田和司
取締役 上席執行役員	豊岡保雄
取締役 上席執行役員	井上雅偉
取締役	秀島信也
取締役	ルース・マリ・ジャーマン
取締役	小林久志
常勤監査役	松尾弘秋
常勤監査役	大西秀昭
監査役	生田目 克
監査役	大塚 幸太郎

(注) 1. 取締役の秀島信也、ルース・マリ・ジャーマン、小林久志の3氏は社外取締役であります。
2. 監査役の大西秀昭、生田目克、大塚幸太郎の3氏は社外監査役であります。

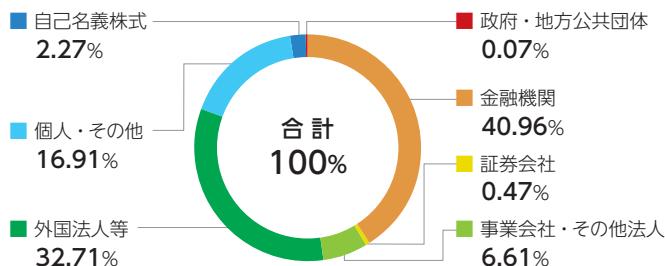
執行役員

常務執行役員	木原勝志
常務執行役員	藤岡敏文
執行役員	鈴木 眞
執行役員	野口篤謙
執行役員	岡田祐明
執行役員	中村隆夫
執行役員	平野 治
執行役員	安藤興司
執行役員	望月吉見

株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,720,000株
株主数	5,627名

所有者別分布状況

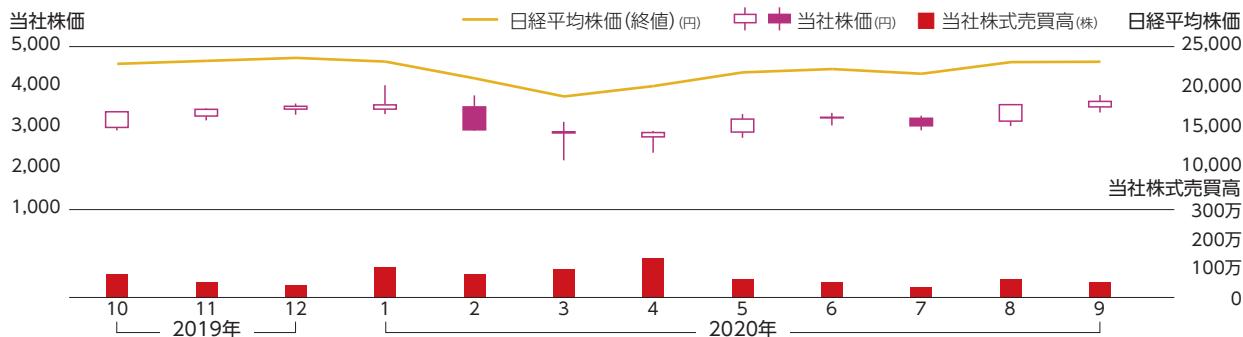


大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,174,700	10.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	775,600	6.77
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	662,527	5.78
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.66
BBH(LUX)FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	515,000	4.50
株式会社三菱UFJ銀行	500,000	4.37
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.82
フジボウ共栄会	283,600	2.48
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	263,600	2.30
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	237,300	2.07

(注) 1. 当社は自己株式を265,902株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電 話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.fujibo.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12
電話 03-3665-7777(代)



<https://www.fujibo.co.jp/>

